

香川県教育委員会 1月定例会会議録

1. 開催日時 令和4年1月17日(月)
開 会 午前10時00分
閉 会 午前10時36分

2. 開催場所 教育委員室

3. 教育委員会出席者の氏名

教育長	工 代 祐 司
委 員	小 坂 真 智 子
委 員	平 野 美 紀
委 員	藤 澤 茜
委 員	木 下 敬 三
委 員	蓮 井 明 博

4. 教育長及び委員以外の出席者

副教育長	小 川 秀 樹
教育次長兼政策調整監	海 津 洋
教育次長	小 柳 和 代
総務課長	藪 木 泰 伸
義務教育課長	原 田 智
高校教育課長	金 子 達 雄
保健体育課長	宮 滝 寛 己
生涯学習・文化財課長	渡 邊 智 子
政策主幹(兼)総務課副課長	佐々木 隆 司
義務教育課長補佐(兼)主任管理主事	西 原 明
義務教育課長補佐(兼)主任指導主事	中 田 祐 二
高校教育課長補佐(兼)主任管理主事	長 林 真 司
高校教育課長補佐(兼)主任指導主事	渡 辺 謙
保健体育課長補佐(兼)主任体育主事	渡 邊 浩 司
保健体育課全国高校総体推進室長補佐	橋 本 博 之
義務教育課主任管理主事	仲 西 長 代
義務教育課主任指導主事	藤 崎 裕 子
高校教育課主任指導主事	亀 田 龍 輔
特別支援教育課主任指導主事	鳥 井 口 隆
高校教育課主任	高 森 俊 介

傍聴人 あり(1名)

5. 会議録の承認

12月定例会の会議録署名委員の蓮井委員から、同定例会の会議録について適正に記載されている旨報告。

各委員に諮り、これを承認した。

6. 議案

○議案第1号 令和5年度香川県公立学校教員採用選考試験大綱について

高校教育課長から、令和5年度香川県公立学校教員採用選考試験大綱について諮る旨、説明。

【質疑】

＜蓮井委員＞昨年度からの変更点(2)に示された特別選考Ⅲについて、これまで小学校又は中学校の教諭を志願する者のみを対象としていたが、令和5年度採用選考試験から高等学校及び特別支援学校の教諭を志望する者を対象に加えるとのことであるが、この主たる理由は何か。また、秋募集は小学校又は中学校教諭を志望する者に限定しており、高等学校等を対象に含めていないが、この差に何らかの理由はあるのか。

＜高校教育課長＞来年度、特別選考Ⅲに高等学校と特別支援学校の教諭を加えたことについては、これまで高等学校と特別支援学校は比較的倍率も高く、採用が見込めているところであるが、近年、徐々に倍率が下がってきていることと、特別選考Ⅲは、28歳以上の中間層の方々を対象としており、この年齢層の方については、採用が厳しい時期があったことから教員の数が少なくなっており、その年齢層に絞って高校等についても採用を行っていきたいと考えたところである。秋募集については、県外での選考試験ということもあり、そこまで実施することは難しいと考え、まずは県内で試験を行う特別選考Ⅲの中で他県の現職教諭の志願者について枠を広げていきたいと考えている。

＜蓮井委員＞とりあえず第一段階という位置づけなのか。

＜高校教育課長＞受験の状況等を踏まえ、今後、秋募集について拡大していく必要が生じるかもしれないが、現時点では特別選考Ⅲのみを実施することとした。

＜藤澤委員＞来年度から原則インターネットのみの出願となるが、今年度、郵送や持参での出願はどの程度だったのか。また、来年度は何件ほど対応する必要がある見込みなのか。

＜高校教育課長＞インターネットでの出願は平成24年度から実施しており、その比率も徐々に増加している。昨年度は、3～4割程度がインターネットでの出願となっている。過半数が郵送や持参での出願であるが、インターネット出願とすることで、事務処理の簡素化が図られると考えている。ただし、特別選考の場合は、特別選考を申し出る理由書や証明書を添付する必要があるため、当該書類をPDFで添付できない場合は別途郵送する必要がある。また、出願自体を手書きでなければできない方がいるかどうかは把握していないため、今回実施し、実態

を把握したいと考えるが、概ねインターネット出願で対応できると考えている。
＜小坂委員＞小学校で英語の指導が必要となり、専科教員で対応している学校があると思うが、教員採用試験において英語に関する評価等を行っているのか。
＜義務教育課長＞英語による面接を実施しており、それを評価の観点に含めている。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

7. その他事項

○その他事項1 令和4年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領について
義務教育課長から、令和4年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領について説明。

【質疑・意見交換】

＜教育長＞児童生徒質問紙調査について、「一部の学校で、端末を活用したオンラインによる回答方式で実施」とあるが、本県の場合はどうなるのか。
＜義務教育課長＞文部科学省から希望の有無について照会があり、県内で希望する学校があれば実施することとなる。
＜教育長＞全国学力・学習状況調査で、英語は、何年に1回実施するのか。
＜義務教育課長＞3年に1度実施することとなっており、再来年度実施することになる。
＜藤澤委員＞生活習慣や環境などに関する質問紙調査の中で、学習環境、生活の諸側面に関する調査があるが、最近はヤングケアラーの問題もあろうと思う。これに関する内容の質問もあるのか。
＜義務教育課長＞全国学力・学習状況調査は、国の実施する調査であるため不明であるが、県が実施する香川県学習状況調査では、ヤングケアラーに関する質問を行うこととした。
＜教育長＞今年度11月に実施した県学習状況調査において質問をしたということか。
＜義務教育課長＞そのとおりである。
＜教育長＞その結果の発表は、いつになるのか。
＜義務教育課長＞年度末に発表する予定である。
＜平野委員＞来年度の全国調査は4月19日に実施することとなっているが、当日欠席している児童生徒はどうなるのか。
＜義務教育課長＞調査を受けないこととなる。
＜平野委員＞ヤングケアラーや長期欠席で出席できない児童生徒の状況は把握できない、調査結果に表れないということか。
＜義務教育課長＞そのような場合もある。

○その他事項2 令和4年3月香川県公立高等学校卒業予定者の就職内定状況につ

いて

高校教育課長から、令和4年3月の香川県公立高等学校及び県立特別支援学校の卒業予定者の就職内定状況について説明。

【質疑・意見交換】

＜木下委員＞公立高校全日制課程の就職希望者数は、今年度は963人、昨年度は1,053人で、100名程度減少しているが、最近の傾向として毎年就職希望者は減少しているのか。

＜高校教育課担当＞御指摘のとおり、就職希望者数は毎年徐々に減少している。公立高校の卒業予定生徒数も昨年度から比べ302人減少し、全体数も減少したため就職希望者も減少していると考えます。

＜木下委員＞今年の場合は、6,111名のうち約15%の963名が就職を希望しているということか。

＜高校教育課担当＞そのとおりです。

＜教育長＞卒業者数に占める就職希望者数の割合は、昨年度や今年度は減少傾向にあるのか。

＜高校教育課長＞12月末時点の就職希望者の割合は、定時制も含め、今年度16.1%、昨年度16.7%、一昨年度は17%を超えていた。この2年間の減少が新型コロナウイルス感染症に起因するかどうかは不明であるが、令和元年度以前は17%を超えていたことから、減少傾向にあると考えます。

＜教育長＞私立高校の就職内定率が低くなっているが、その要因は把握しているのか。

＜高校教育課担当＞就職を希望する生徒には、卒業見込みとなってから学校が就職先に推薦することとなっているが、確認したところ、ある私立学校において、卒業見込みとならない生徒が多いため、内定率が低くなっていると聞いている。

＜平野委員＞卒業見込みとならない理由は何なのか。

＜高校教育課担当＞停学になったり、不登校のため単位の修得が難しくなり、卒業見込みとならない生徒がいると聞いている。

＜平野委員＞コロナの影響により学校に登校できなくなったということか。

＜高校教育課担当＞そこまでは確認していない。

○その他事項3 第77回国民体育大会冬季大会について

保健体育課長から、第77回国民体育大会冬季大会及び香川県選手団について説明。

【質疑・意見交換】

＜教育長＞昨年度、秋田県で開催予定であったスキー競技会が中止となったのは、秋田県が決定したことか。

＜保健体育課長＞スキー競技の場合、出場選手が同じ部屋に宿泊することとなるなどから、秋田県が判断したものである。

○その他事項4 令和4年度全国高等学校総合体育大会について

保健体育課長から、令和4年度全国高等学校総合体育大会の準備状況等について説明。

【質疑・意見交換】

＜木下委員＞協議種目別9種目の大会ポスターは、一般に公募したものなのか。

＜保健体育課長＞高等学校と特別支援学校の生徒に対し、デザインを募集したものである。

＜木下委員＞素晴らしい作品である。

＜教育長＞高松駅にも掲示しているのか。

＜保健体育課長＞カウントダウンボードの後方に掲示している。